

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2022

課題番号：17K02022

研究課題名（和文）イスラーム世界におけるグローバルな移動がもたらす社会変容の質的・量的解明

研究課題名（英文）Qualitative and Quantitative Analysis of Social Transformations of International Migration in the Islamic World

研究代表者

木下 博子（KINOSHITA, HIROKO）

九州大学・留学生センター・准教授

研究者番号：60711223

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、東南アジアと中東というイスラーム世界の重要な地域における人のグローバルな移動、とりわけ留学に着目し、この移動によってもたらされる両地域の社会変容をフィールド調査と、ビッグデータの採取・分析から、質的・量的かつ包括的に明らかにした。具体的には、東南アジアの主要大国であるインドネシアと、中東地域の大国エジプトを事例に、留学生の社会的ネットワークを直接・間接的な相互交渉によって構造化されるつながりとして浮き彫りにし、留学生をめぐる社会的ネットワークの実態と変容を浮き彫りとした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は第1に、イスラーム世界におけるグローバルな移動が社会変容に与える影響を、聞き取り調査や参与観察などの地域研究的手法による質的分析と、ビッグデータを活用した量的分析の融合という新しい方法論によって解明するモデルを構築する点で極めて独創的であった。第2に、留学というグローバルな移動がもたらす社会関係の変容について、ビッグデータの採取・解析を通じて、多地域の事例研究が同時に可能となる。これによりイスラーム世界の主要地域である東南アジア・中東をより深く理解することに繋がった。

研究成果の概要（英文）：This research focuses on international migration of people, especially study abroad, in Southeast Asia and the Middle East, two major regions in the Islamic world, and reveals the social transformations resulting from this migration qualitatively, quantitatively, and comprehensively through field research and big data collection and analysis. In particular, taking Indonesia, a major power in Southeast Asia, and Egypt, a major power in the Middle East, as case studies, the study highlights international students' social networks as connections structured through direct and indirect reciprocal negotiations, and reveals the reality and transformation of international students' social networks.

研究分野：地域研究

キーワード：国際移動 ムスリム留学生 留学生コミュニティ

1. 研究開始当初の背景

イスラーム世界のダイナミズムを捉える際に、グローバルな人の移動は決定的に重要な視角となる。なかでも、テロリズム、巡礼、移民・難民そして留学などは、現在のイスラーム世界の変容を説明するカギである。

これらの観点に着目した研究として、IS (イスラーム国) を事例にした思想や活動の波及をめぐる研究 (池内恵 2015『イスラーム国の衝撃』) や、巡礼というグローバルな移動がムスリムとしての自己認識を強化する役割を果たしていることを明らかにした研究 (Eric Tagliacozzo et al. 2015 *The Hajj*)、また移民・難民が居住地社会でムスリムとして生きるにあたって直面する多様な問題を描いた研究もある (駒井洋監修 2010『中東・北アフリカのディアスポラ』)。このように、テロや巡礼、難民については研究蓄積がある一方で、もう一つのグローバルな移動である留学については、ほとんど解明されていない。留学は、イスラーム成立後から現代に至るまで継続的な知的交流による緩やかな社会変容をもたらす営為として極めて重要であり、当該分野を研究することは喫緊の課題であった。

2. 研究の目的

本研究では、グローバルな移動という観点から留学をとらえ、これまでの実務的、質的分析に加えて、社会変容を量的に明らかにするためにビッグデータ解析を援用する。本研究課題では、ビッグデータをデータ規模・量 (volume) に準ずるものではなく、データ出所が多様である、つまり計量可能な情報を多角的側面から収集した集合体 (variety) ととらえ、社会変容を量的に明らかにする。聞き取り調査や参与観察に代表される質的調査では、調査対象者と対面で向き合うことから、表情や語り口の抑揚など細部まで観察し記述することが可能である反面、一度に多くの調査対象者と相対することが困難という問題がある。特に現代社会では、SNS に代表される ICT (Information and Communication Technology) を活用した人的ネットワーク構築が浸透しており、これはイスラーム世界においても例外ではない。しかしながら、このような言わば仮想世界での人的ネットワークの変遷は、実世界で観測しにくい場合が多く、聞き取り調査や参与観察では限界が生じる。この問題を解決するため、質的調査に加え ICT 活用に関するビッグデータを取得・解析し、これらの結果を包括的に分析する必要があると考えた。

本研究では、具体的に北米 (アメリカ)、ヨーロッパ (イギリス)、日本への留学を軸に、インドネシア人留学生に加え、エジプト人留学生にも対象を拡大し、聞き取り調査と参与観察、ならびに ICT 利活用のログ取得とその分析を行う。そして、これらの結果を総合的に分析することで、留学というグローバルな移動がもたらす中東と東南アジアの社会関係の変容を解明する。

3. 研究の方法

本研究課題に取り組むにあたって、地域研究とビッグデータ解析という新たな研究手法を用いる。具体的には現地語 (インドネシア語、アラビア語) および英語で書かれた留学関係資料の解析、留学を管轄する政府関係当局等への聞き取り調査、インドネシアおよびエジプトから北米、ヨーロッパ、日本への留学生への聞き取り調査や現地留学生コミュニティにおける参与観察を中心とするフィールドワークである。さらに、社会的ネットワークを量的データに基づいて分析するためのシステムを構築し、データを採取する手法を用いる。平成 29 年度には資料収集・解析およびプラットフォーム構築、平成 30 年～31 年度には、留学先でのフィールドワークおよびデータ収集を実施の予定であった。最終年度にはグローバルな移動のもたらす社会変容を解明することを想定していた。他方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、平成 30 年～31 年度に予定していた現地調査を断念せざるを得ない状況となり、急遽研究期間を延長した。この間、資料精査および日本国内におけるフィールドワークに調査方法を切り替えた。

4. 研究成果

本研究課題の成果は以下の通りである。
学術論文 (査読付き)

Kinoshita Hiroko. 2019. "The Needs of Students in Saudi Arabia Seeking to Study in Japan: A Poll-Survey Analysis," *International Journal of Higher Education* 8 (4), pp. 145-152.

———. 2021. "Connected or Separated? : Transformation of Muslim Student Community in

Japanese University under the Covid-19”, Journal of Dialogue Studies, vol.9, pp. 210-227.

紀要論文

Kinoshita Hiroko. 2022. “International Learning amid the Global Pandemic: The Case of the College of Asia Pacific”, Bulletin of KIKAN Education, vol.8, pp. 37-49. Co-authored with Masa Higo and Chisato Nonaka.

研究報告

Kinoshita Hiroko. 2019a. “Being Muslim in non-Muslim country: The case of Egyptian Student” 第2回ダイバーシティシンポジウム(3月18日)九州大学.

———. 2021. “Connected or Separated? : Transformation of Muslim Students Community in Japanese University under the Covid-19,” Academic Workshop on Dialogue with and among the Existing, Transforming and Emerging Community (London, UK, 16 June).

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 3件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Hiroko Kinoshita	4. 巻 9
2. 論文標題 Connected or Separated? : Transformation of Muslim Student Community in Japanese University under the Covid-19	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Dialogue Studies	6. 最初と最後の頁 210-227
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroko Kinoshita	4. 巻 28
2. 論文標題 A Quantitative Text Analysis Approach on LGBTQ Issues in Contemporary Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Population and Social Studies	6. 最初と最後の頁 66-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroko Kinoshita	4. 巻 8
2. 論文標題 The Needs of Students in Saudi Arabia Seeking to Study in Japan: A Poll-Survey Analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Higher Education	6. 最初と最後の頁 145-152
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下博子・斉藤信浩	4. 巻 27
2. 論文標題 Summer in JapanおよびSummer Program for EJEP実施報告	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 留学生センター紀要	6. 最初と最後の頁 131-140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 Hiroko Kinoshita
2. 発表標題 Connected or Separated? : Transformation of Muslim Students Community in Japanese University under the Covid-19
3. 学会等名 Academic Workshop on Dialogue with and among the Existing, Transforming and Emerging Community (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hiroko Kinoshita & Dai Yamao
2. 発表標題 A Quantitative Text Analysis on Mobilization of the Electorate by Islamist Parties during the 2018 Iraqi Parliamentary Election
3. 学会等名 International Conference of Global Risk, Security and Ethnicity (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroko Kinoshita
2. 発表標題 Social Division Promoted by Commercial Media: A Quantitative Text Analysis of LGBT Issue in Contemporary Indonesia
3. 学会等名 International Conference on Resources and Human Mobility (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroko Kinoshita
2. 発表標題 The Impact of the World Association of al-Azhar Graduates and its Social Role: The Case of Egypt and Indonesia
3. 学会等名 International Convention of Asia Scholars (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------